

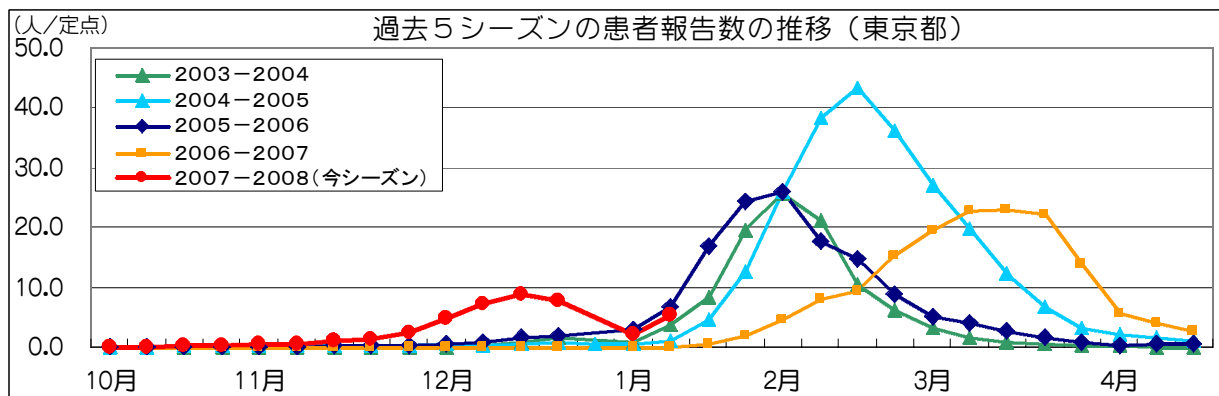
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

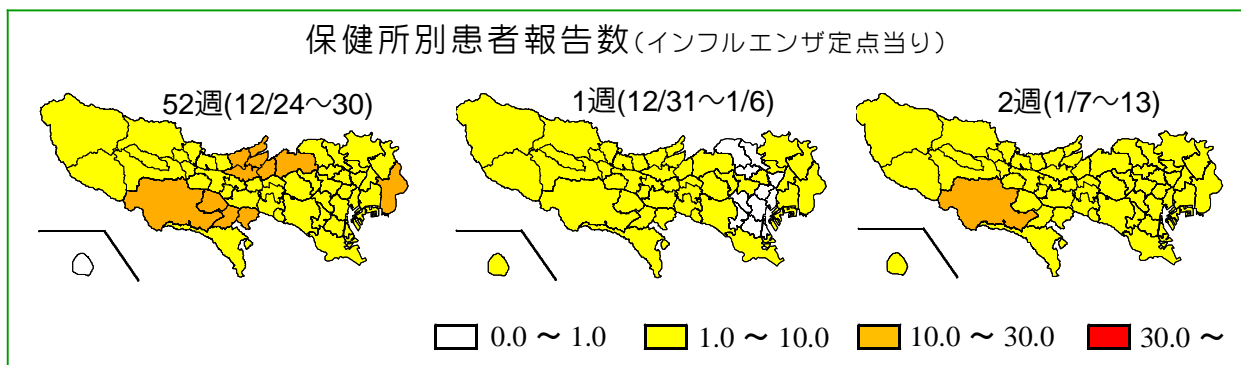
今号(第9号)のトピックス

- ・第2週(1月7日から13日)のインフルエンザ患者報告数は 1,529人、定点当たり 5.35人 (去年同期 定点当たり 0.13人)
- ・学級閉鎖なし
- ・全都道府県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が1人を超える
- ・東京都の流行規模は、全国で34位

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第2週(1月7日から13日)の患者報告数は東京都で 1,529人、定点当たり 5.35人です(去年同期 定点当たり 0.13人)。インフルエンザ定点当たりの報告数は、先週に比較して増加しましたが、前々週(2007年52週)のレベルには達していません。今後さらに増加する可能性がありますので、注意が必要です。

全国の患者報告数は 30,282人、定点当たり 6.40人です。全国の定点当たり患者報告数は、52週のレベルを超えています。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

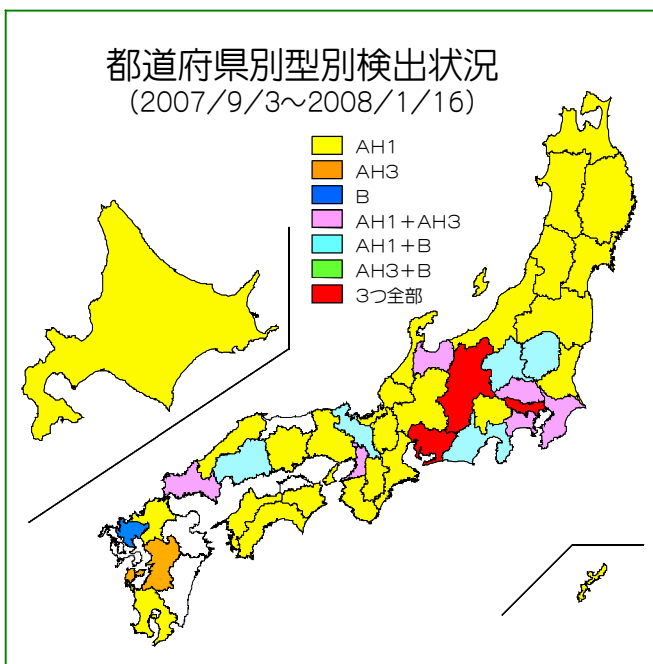
週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-51週 (9/3-12/23)	366	60	59	0	1
52週 (12/24-30)	25	8	8	0	0
1週 (12/31-1/6)	7	0	0	0	0
2週 (1/7-13)	61	26	25	1	0
合計			92	1	1

表2. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果

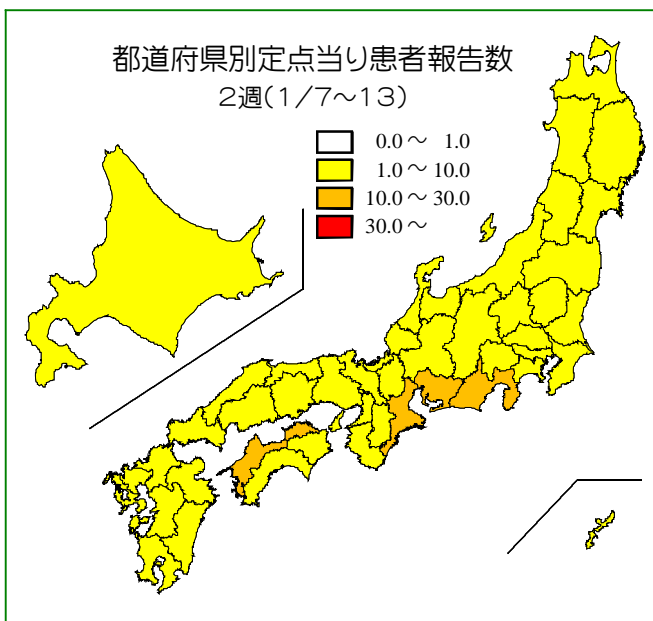
搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					AH1	AH3	B
12月末まで	24カ所	幼稚園 小学校	92	90	90	0	0
1月17日	島しょ	中学校	5	-	-	-	-
1月18日	島しょ	中学校	4	-	-	-	-

-:検査中

都道府県別型別検出状況
(2007/9/3~2008/1/16)



都道府県別定点当り患者報告数
2週(1/7~13)



2 都内学校の学級閉鎖状況

1月6日から12日には、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖はありませんでした。

3 東京都と全国の検査情報

(2007年9月以降)

1月13日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が92件、AH3亜型が1件、B型が1件、PCR法により検出されています。

1月18日までに集団発生(学級閉鎖等)26事例の検体が当センターに搬入され、24事例90検体からAH1亜型が、PCR法で検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、1月16日までに、40都道府県からAH1亜型、10都府県からAH3亜型、9都府県からB型が報告されています。

今回新たにAH1亜型が青森と新潟の2県から、AH3亜型が東京と神奈川の2都県から報告されました。

4 全国の流行状況

第2週(1月7日から13日)現在、全都道府県でインフルエンザ定点当りの患者報告数が流行の目安となる1人を超える状況にあります。愛知(11.75)、香川(11.34)、静岡(10.79)、三重(10.19)、愛媛(10.18)の5県は、定点当り患者報告数が10人を超えています。

東京(5.35)は全国で34番目になっています。

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL:03-3363-3213

FAX:03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/